

令和4年度

相撲を通じた地域づくり・人づくり

事業名

「伝統×子ども」魚成に根付く、新たな地域づくり人づくり事業

組織名

魚成地域振興会



01 事業の背景

魚成地区では、昔から相撲文化が受け継がれており、地区相撲や奉納相撲等が今でも各地に残っている。乙亥大相撲に出場する子ども・大人のチームもあり、相撲文化を継承していく土台はできている。しかしながら、城川町には土俵が無く、仮設土俵の設営や他地区への練習送迎等、負担は大きくなっている。そこで、地域の核である魚成地域づくり活動センターに屋外土俵を作り、相撲を起点とした地域文化の継承、負担軽減を図るとともに、子どもたちの愛着形成を目指した取り組みがスタートした。

02 事業の概要

魚成地区に新たな屋外土俵を作り、相撲を中心とした地域づくりを行っていく。土俵整備に際しては、子どもたちが関わる機会をもてるよう、土俵作り体験教室の実施や木育教室を活用した見学・体験等を実施。また、各地で行われている奉納相撲や子供相撲においても土俵を開放し、地域住民から親しまれる場所づくりを目指した取り組みやイベント内容を検討していく。

03 事業の目標

魚成地区の中心である魚成地域づくり活動センターを拠点とした、新たな環境づくり、地域づくり、魚成に愛着を持つ人づくり（特に若年層）に力を入れ、最終的には、魚成に住み続ける人・関係人口の増加を目指す。

04 事業の成果

令和3年度に土俵を整備し、今年度は四方柱・屋根の取り付けを行い、屋外土俵として完成した。完成間近のタイミングで木育教室を開催し、小学生に建築の様子を実際に見て学んでもらった。

令和4年10月29日に土俵開きを行い、地域を挙げて新土俵の完成を祝った。

また、オープン記念相撲大会もあわせて実施し、魚成地区内外から多数の出場者を得て、盛大に執り行った。この取り組みの中で、野村町各地との交流も活発になり、今後の地域づくりを進めて行く中で、大きなつながりができた。

また、新土俵での練習もスタートさせ、大人・子どもそれぞれ乙亥大相撲へ出場。一般成年の部二部で城川Aが優勝、城川Bが第3位。小・中学生では個人戦優勝等、好成績を収めた。

05 こんなこと学びました！

屋外土俵の新設・土俵開きイベントの開催にあたり、横林地区の相撲大会を見学に行きました。屋外土俵で繰り広げられる熱戦に感動したことを覚えています。

その後の慰労会も参加させてもらったのですが、相撲選手たちの飲みっぷりには驚くばかり…。

選手の皆さんには相撲はもちろんのこと、お酒も敵わないと身をもって実感しました！



06 今後の展望

乙亥大相撲に向けた大人・子どもの練習、地域の奉納相撲や地区相撲大会を継続開催し、古くから残る相撲文化を再燃させ、魚成に根付く新たなイベント・取り組みの一つとなることを期待している。地域を巻き込んだ相撲文化の形成のためには、特に若年層へのアプローチが重要と考えているので、地域の若者が楽しみながら、相撲や地域文化の継承ができるような取り組みを推進していきたい。

07 最後にひとこと！

この事業をきっかけに、相撲の歴史や所作を学び、老若男女、多くの方と交流が生まれました。令和4年度には「魚成若者応援サポーターENSHITA」という団体も結成されました。若者の夢を支援・応援するグループが地域にできたことは、魚成が力を入れている住民（特に子ども・若者）の愛着形成を目指した地域づくり活動において、大きな意味があります。こういった活動を続け、仲間を増やしながら、魚成を盛り上げていきます！

事業費の内訳

総事業費

3,500,005円

歳入	費用	金額	備考
	交付金	2,000,000	
	地元負担金	1,500,000	
	預金利息	5	
	合計	3,500,005	

歳出	費用	金額	備考
	報償費	232,730	
	租税公課	400	
	需用費	100,156	
	役務費費	50,729	
	委託費	3,073,202	
	使用料・賃借料	5,200	
	原材料費	37,588	
	合計	3,500,005	